

生きる喜びを
Let's create Iwate as a place to live happily.
感じられる岩手に！

いわて
県政
レポート
2026
冬号

岩手県議会議員

ハクセル 美穂子

MIHOKO
HUXEL

ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ
◎家族／アメリカ人の夫、4人の息子（高3、高2、高1、中1）
◎職業／英会話教室経営
◎趣味／読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり
◎学歴／雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]
◎経歴／平成9年 雫石町役場入庁
平成17年 夫とともにアメリカへ移る
平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選
令和元年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区2期目の当選
令和5年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区3期目の当選

f ハクセル美穂子
オフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/mihokopage/>



お知らせ

2月もハクセル美穂子
「車座座談会」
を開催します！

日々のお困りごと、行政の支援が必要だと考えている事などいろいろな日々の出来事を語り合しましょう！テーマを決めず、ざっくばらんに日々考えることを語り合う会です。皆さまと語り合ったことを岩手の地域づくりに活かしていきます。ぜひ、ご参加ください！

2月7日㊥ 御所公民館 午後1時半～

2月9日㊦ 西山公民館 午後6時半～

2月7日㊧ 御明神公民館 午後4時～

2月10日㊨ 雫石公民館 午後6時半～

また、座談会開催のご要望も受け付けています。DM、ホームページお問合せ、FAX等ご希望の開催地と日時をお知らせください！より良い地域づくりのために、皆さまが日々感じていることをお話しください！お待ちしております！

2025.8月18日 市町村要望（滝沢市・雫石町）

2025.8月22日 雫石町戦没者追悼式

2025.8月26～27日 全国都道府県議会議長会女性議員研究交流大会

全国都道府県議会議長会主催の女性議員研究交流大会に参加しました。全国的女性都道府県議会議員が一堂に会した初めての大会であり、議員生活10年目の節目の年に、大変有意義な交流の機会となりました。野田聖子衆議院議員の基調講演を通じ、女性が政治分野で活躍する意義と課題を改めて共有し、その思いを一層強くなりました。今後も、若者や女性の活躍を後押しする取組を続けてまいります。



女性議員研究交流大会に参加した仲間と

2025.8月28日 県立高校に関する地域検討会議

2025.9月10日 総務委員会現地調査

2025.9月22～26日 車座座談会

2025.9月25日～10月24日 9月定例会・決算特別委員会

9月定例会にて【メガソーラー設置に関する規制強化を求める請願】を不採択とする委員長報告に反対の討論をいたしました。
詳しくは裏面アセンブリーニュースでお伝えします！

2025.11月4日 市町村要望調査（岩泉町）

2025.11月6日 市町村要望調査

（宮古市・普代村・紫波町）



2025.11月8日 新生雫石町70周年記念式典

2025.11月9～11日 いわて県民クラブ・無所属の会

子育て支援政策先進地調査（鳥取県）

詳しくは裏面コラムでお伝えします！

2025.11月11日 新生雫石町70周年記念式典

2025.11月13日 市町村要望調査（矢巾町）



矢巾町

2025.11月22日 雫石町立雫石中学校統合50周年記念式典

2025 11月27日～12月10日 12月定例会

全国都道府県議長会より、県議会議員勤続10年の表彰を賜り、9月定例会本会議終了後に伝達式が行われました。2015年9月の初当選以来、県民の皆様一人一人の温かいご支援と励ましに支えられ、子育て支援や女性活躍、第一次産業の振興など、県政への提言活動を続けてくることができました。皆様と共に歩みを重ねてきた10年の節目を迎えられましたことに、心より感謝申し上げます。今後も皆様の声を大切に、より良い地域づくりのため、一層努力してまいります。



県議勤続10年の表彰を受けました



2025.12月19日 いわて県民クラブ・

無所属の会知事要望

ハクセル美穂子 事務所

〒020-0539 岩手県岩手郡雫石町上町東23-1 Tel.019-909-0158 Fax.019-692-3490

討論について

9月定例会において、メガソーラー設置に関する規制強化を求める請願が提出されました。この請願は、大規模太陽光発電所の設置に関する立地規制や環境保全に関する法的規制の強化や、自然環境に大きな影響を及ぼす区域における無秩序な開発を抑制する制度整備を国に求めるものでした。審議を担当する環境福祉委員会においては不採択となりましたが、我が会派としては、無秩序なメガソーラーの建設による環境破壊に関する課題は、岩手県においても各地域で散見される事案



反対討論の様子

県議会に提出された皆さまのお声【請願】は、委員会でしっかり議論をされています！ 毎定例会毎に提出された請願・陳情は、担当する各委員会で採択・不採択について議論し決定されますが、本会議の採決前に不採択となった請願に対する思いを述べる【討論】を行うことができます。今回は、9月定例会での討論についてお伝えします！

であるため、この請願を採択し国に対して岩手県議会から意見を申し上げるべきと考え不採択の委員長報告に対して反対の討論を行いました。

私が行ったメガソーラー規制強化請願に対する反対討論の趣旨は、以下のとおりです。

我が国のエネルギー自給率は依然として低く、再生可能エネルギーの普及は、安定供給の確保や脱炭素社会の実現に向けて重要な政策である。一方で、近年は大規模太陽光発電所（メガソーラー）による事故やトラブルが全国各地で発生している。山林の大規模伐採に伴う土砂災害の危険性、豪雨による設備倒壊や火災、無許可伐採など、無秩序な開発が地域の安全や自然環境に深刻な影響を与えている。さらに、太陽光パネルの多くが海

外製であることに伴う環境負荷や人権問題、廃棄・撤去時の有害物質処理の不透明さも看過できない。請願が求める立地規制や環境保全に関する法制度の強化、森林や湿地等への無秩序な開発を抑制する仕組みは、県民の安心・安全を守る上で必要不可欠である。一部に検討課題が残るとしても、県民の不安の声に応え、国に制度改善を求める姿勢が重要であり、不採択とする委員長報告に反対の討論とする。

また、こちらのQRコードから私の討論の様子をインターネット中継でご視聴いただけます。ぜひご覧ください！



2026冬号コラム COLUMN

「子育て王国とっとり」

子育て支援先進県:鳥取県の取組みを視察しました！



鳥取砂丘こどもの国にて

鳥取県は、2010年9月に「子育て王国とっとり」を宣言し、地域全体で子育てを支えることを目指した政策を実行してきた子育て支援の先進県です。令和6年3月には新たに「シン・子育て王国とっとり計画」を策定し、さらに先を行く子育て支援政策に取り組んでいます。岩手県も全国トップクラスの子育て支援が行われていると知事が答えていますが、合計特殊出生率や出生数の増加といった目に見える効果は表れていません。鳥取県の取組みを学び、岩手県でも更なる子育て支援政策が推進されるよう、会派一丸となってこの成果を政治活動で活かしていきます。



工作ルーム

鳥取県は、不登校の児童・生徒に対する支援が大変優れています。鳥取県には、不登校の児童・生徒を受け入れ居場所となるフリースクール等が少ないため、知事の許可を受けた専修学校等がフリースクールの機能を担っていく鳥取県版の制度ができないか検討を重ねました。

その結果、平成27年1月に「不登校児童生徒を指導する民間施設のガイドライン」を県教育委員会が策定し、併せて「鳥取県フリースクール連携推進事業補助金交付要綱」も制定、県教委のガイドラインに準拠したフリースクールを運営する事業者に対してひるような経費助成を始めました。その後令和2年には年収590万円未満の世帯の児童生徒のフリースクール授業料に対して助成を行う市町村に



ふわふわドーム

する支援を開始し、着実に不登校の児童・生徒に対する支援策を進めています。また、県がガイドラインに沿ったフリースクールを認定することにより、認定フリースクールと市町村教育委員会、学校、家庭との連携を促し、不登校児童・生徒の学習を保障し積極的に出席扱いとなるよう支援しています。

鳥取県の特筆すべきポイントは、県が、市町村の教育委員会と学校、フリースクール、家庭の調

整役を担っているという点です。また、県・市町村が設置する教育支援センターと認定フリースクールの連携強



滑り台

化、支援体制の強化を図り、都市部と地方部の受入環境に格差がないような配慮がされています。県内どこに住んでいても子ども達が同じような教育支援を受けられるように鳥取県が率先して動いていることがよくわかり、目から鱗が落ちる思いで担当の方々のお話に耳を傾けました。

一方、岩手県では、令和3年度から不登校児童生徒支援連絡会議を設置し、意見交換や情報共有を行い、不登校児童・生徒を抱える保護者支援のためのフォーラム等は開催されていますが、鳥取県のように「出席扱い」とすることができるフリースクールの基準を示したガイドラインの策定や、フリースクールの運営や授業料に対する補助等の具体的な支援策はいまだに行われていません。鳥取県で学んだ先進事例を県議会でも紹介・提案し、県内どの地域においても必要な支援が届くよう、子育て支援体制の充実・強化に取り組めます。



鳥取県議会議場にて、会派の仲間と

